

2023.2.15

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

あなたの声が届く議会を
目指して ▶P12

委員会活動報告 ▶P12~P14

まちなか会議 ▶P15



特集

ニャンニャン
みずほ

&

町議会

特集

ニャンニャン みずほ & 町議会

人知れず野良になった猫。また、人の手によって野良になった猫。野良猫の生活は過酷で、時には地域の方々に迷惑をかけてしまう時もあります。そんな不幸な猫たちを生まないように、そして地域の環境保全にもつながるように猫のボランティアグループ「ニャンニャンみずほ」が発足しました。現在、会員18名でTNR、子猫の保護、譲渡会（里親探し）などの活動を行っています。なお、町からの補助金も活用しています。

*TNR…捕獲し、不妊・去勢手術を行い、元の場所に戻す。

一緒に猫談義しましょう。入会をお待ちしています。



譲渡会の様子 (みずほエコパーク)

Q11の会を立ち上げたきっかけは？

—事故で動けなくなっている猫を助けたいと動物病院へ。一命は取り留めたものの治療費は高額になりました。人に限らず命を助けるって、個人では限界があると思いついて仲間集めをしました。

Q12 入会した理由は？

—わが家で猫を飼い始めてから猫の生活を勉強しました。それで、野良猫がどれだけ過酷な生活をしているかを知りました。一匹でも幸せになってほしいと思って入

会しました。

—私も同じ気持ち。

—引越したときに捨てられた飼い猫を見かけました。家族に見捨てられるって悲しいですね。新しい家族を見つけてあげたいと探していたら、この会にたどり着きました。

—メンバーに誘われてズルズルと(笑)。

Q13 会に入って良かったこと、楽しかったことは？

—猫好きの仲間が増えました。猫談義は楽

しいですよ。

—里親さんとも仲良くなり、交友が広がりました。

—不幸な一生を送る猫を生まないようにするために不妊手術が必要になります。募金が集まって、不妊手術して、さくら耳の猫になった姿を見たときは「入会してよかった」って気持ちになります。

—保護した猫の里親が見つかった時は心から「よかった」って思います。

—人に慣れない子猫を保護して愛情込めて世話をしていると、徐々に心を開い



譲渡会と猫の
ケアマネージャー
中村 夏路 さん



授乳の必要な赤ちゃん猫の
ママさん役
杉本 緑 さん



猫の命を守りたいと
奮闘する
福島 喜子 会長



かわいい猫情報を発信する
ICTのプロ
中村 晴子 さん



動物と人間が共生するって
ステキと話す
立野 まり さん



さくら耳の猫

Q14 メンバーをどう見つけた？

—さくら耳の猫ちゃんに出会ったら、この会のことを思い出してほしいですね。毎月2回、エコパークで猫の譲渡会をやっています。かわいい猫ちゃんたちです。ぜひ見に来てください。

—人にも動物にも優しい町を目指したいですね。

—現在、会員募集中です。みんなで猫談義

しましょう。

て懐いてくれました。里親が見つかったうれしいのですが、お別れと思うと寂しくなります。

—そうそう、私もそんな時は、「嬉(うれ)しい」って気持ちになります。

—そんな時、メンバーがそばにいてくれて…すてきな会です。

ご協力ありがとうございました。

～厚生文教委員会で審査～

どう判断する

都立高校入試におけるESAT-J結果の利用は 妥当か 不当か

都立高校入試に中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)結果の利用中止を求める陳情

【陳情者】 立憲民主党瑞穂町政策委員 川島 靖弘

【陳情の趣旨】

英語のスピーキングテストを行うことに反対はしていない。採点方法や採点者の資格などが不明なまま、その結果を入学試験に使うのはあり得ない。また、結果が1月に届けられ、志望校の急な変更を検討する受験生の不安や対応する先生方への負担などの問題が指摘されている。東京都教育委員会に利用中止の意見書を提出してほしい。

この陳情については、議員間討議をする上で、現状を認識する必要があったため、執行部の出席を求めて質疑を行いました。

主な質疑内容

Q 保護者からの不安の声は届いたか。

A 反対の声や戸惑いの声は届いていない。

Q 教員への負担は。

A 東京都教育委員会のホームページでESAT-Jに関する動画がアップされており、負担が最小限になるような仕組みになっている。

Q すでに試験は実施されているが、生徒からの声は。

A 特に改善や中止を求める声は届いていない。

【議員間討議】(主な意見)

スピーキングテストを行うこと自体は陳情者も反対していない。採点の公平性や透明性に問題があると述べている。さまざまな角度から検証が必要であり、現在訴訟がされている状況を考慮して、この裁判の成り行きを注視することを優先するべきでは。



授業風景(二中)

3年前から実施することとなっていたものがコロナ感染拡大の影響で実施が延期されたもので、この間に準備はさらに進んだものと思う。

東京都教育委員会は入試の構造に問題はないとしているが、本当に公平性が担保されているかについては引き続き注視していくべきだ。

委員会での審査結果は継続審査となり、その後、本会議で継続審査が議決されました。

その他の陳情

番号	件名	付託先	結果
4陳情第3号	瑞穂町議会会議規則に「議長が紹介議員を任命する」を加える改正をもとめる件	議会運営委員会	継続審査
4陳情第6号	条例制定義務の課題を明らかにすることを求める件	議会運営委員会	継続審査
4陳情第8号	陳情書	議会運営委員会	継続審査
4陳情第13号	建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める、国への意見書を求める陳情書	厚生文教委員会	継続審査

※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。



pick up 1

議案第83号 令和4年度 瑞穂町一般会計補正予算(第8号)

物価高騰対策 都は私立保育園に限りて補助金支出、町立保育園や幼稚園はどうなる？

Q 物価高騰の緊急対策として私立保育園には都から約440万円の補助金が支出されているのに対して、町立のむさしの保育園、石畑保育園や幼稚園については都からの補助金がないが。

A 都に確認したところ公立保育園や幼稚園についての補助金は考えていないという返答だったので、施設間の公平性を担保するため、町で補助対象外の施設に合計で約500万円を補助したい。



園庭で遊ぶ子どもたち(町立石畑保育園)

モノレール延伸でバス路線は？



終点の上北台駅

Q モノレール延伸に伴うバス路線再編に関する基本方針検討業務として約50万円が計上されているが内容は。

A 沿線の2市1町とバス事業者などの関係機関で情報を共有するための基礎資料作りや今後の基本方針を検討するための業務委託で、武蔵村山市が一括発注し、町は負担金として市に支出するものである。

公式キャラクター みずほまるが議会を訪問！

しっぽだってチャームポイントだよ



※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。



山崎 栄 議員 (自民誠和会)

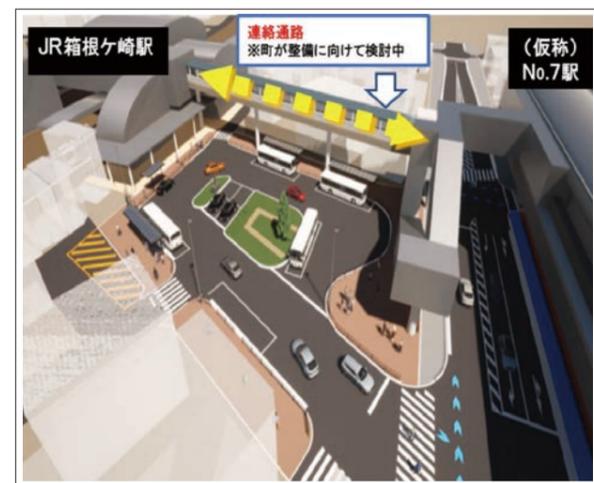
モノレール延伸を見据えたまちづくりに対する町の展望を問う



町長 町の発展のため、このタイミングを逃さない



質問 多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸計画の実現に向けて10月に都市計画素案説明会が開催され、希望の持てる見通しが立ち、町民から大きな期待と関心が寄せられている。延伸に際しては、沿線地域のアクセスや利便性の向上はもとより、町全体の活性化や魅力の向上などにも結び付けていく必要があると考える。そこでモノレール延伸を見据え、現在の課題や対策、今後のまちづくりをどのように進めていくのか、町の展望について何う町長 モノレール延伸に併せて、JR八高線とバス路線との交通ネットワークを再編し、近隣自治体との新たな



箱根ヶ崎駅東口駅前広場 (イメージ)

交通連携を図る。農業、商業、工業のデジタル化、DXを推進し、産業イノベーションを創出する拠点整備を組み合わせていく。モノレール延伸および沿線まちづくりは、町全体の活力や魅力を向上させる上で欠かせない。課題は財源確保などである。地域経済が疲弊している状況だが、このタイミングを逃せば町の発展を見込めないため、財源確保を確かなものにしていく。

村上 嘉男 議員 (自民誠和会)

自主防災組織の育成強化 および支援について



町長 連携と役割を確認しながら、地域防災力を高める



質問 2011年の東日本大震災以来、近年まで大規模災害は頻発している。今後も気候変動の影響などにより既存の想定を上回る災害の発生や、南海トラフ地震、首都直下地震の発生が懸念される。



自主防災組織による防災訓練 (仲町)

これらの大規模災害を想定すると公助はもとより自助、共助なくして、被害の軽減を図ることは困難である。そこで地域防災の担い手となる自主防災組織が、期待される役割を担っていくための今後の育成強化および支援について町長の所見を伺う。町長 平成21年3月、既存の町内会などをベースとして自主防災組織連絡協議会が発足して以来、町は事務局

として活動を支援している。災害時の避難生活時においても、避難所の開設・運営などは、地域の方々の協力が必ずとなる。行政も地域防災の中心である自主防災組織とともに、訓練などで表れる課題を共有、解決しながら、活動をより強化できるよう努める。今後、より具体的に各機関の連携と役割を確認しながら、地域防災力をさらに高めていく。

村山 正利 議員 (自民新政会)

これからの「介護保険制度の在り方」を問う



町長 課題解決は容易ではないが



質問 老人福祉制度は、高齢化率5・7%の1960年代から始まり、高齢化率の上昇や医療が必要でない生活の支援(介護)が増える中で、政策転換を余儀なくされた。2000年には施設介護から在宅介護に移行し、核家族負担の軽減や高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みで「介護保険制度」が創設された。20年が経過し、幾度となく改正が行われている。これからの制度維持についての課題や今後の在り方について町長 町長 現在の介護認定者数は全国で約697万人となり、制度開始当初の約3倍に増加している。課題は、20



折り紙を使った脳トレ教室 (寄り合いハウスいこい)

25年までに介護人材を32万人確保することと財源の確保、家族介護者や施設の介護職員行政の負担軽減などである。これら諸課題の解決は容易ではないが、介護保険制度は維持されなければならない。私は厚生労働省の介護保険部会の委員であり、地方自治体の代表として国に対して将来にわたり安定したサービスが受けられるよう働きかけていく。

原 隆夫 議員 (公明党)

使用済み紙おむつの持ち帰りなしなど、保育環境の整備、支援を



町長 町の実情に合った処分方法を研究したい



質問 保育園児の保護者から「使用済み紙おむつを持ち帰りなしにならないか」との声がある。東京都では持ち帰りのところは少なく、23区の公立保育園で持ち帰る区はない。小平市では公立・私立保育園の要望書提出があつて、数年前にすべての認可保育園のおむつ処理費用が予算化された。全国的に持ち帰りなし、手ぶら降園が急速に増えている。我が町も保護者負担軽減、保育士負担軽減ともなる持ち帰りなしの支援をすべきと考えるが、町長 町内保育園などでは、一部を除き、保護者の皆様が紙おむつを持ち帰って処分している。その理由は、子供の体調を把握すること、保管スペースの確保や衛生面の管理が困難であること、事業系ごみとして処分費用の財源確保が困難なことである。町には、幼稚



榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

地域公共交通のさらなる充実を



町長 利用実態を踏まえ 運行計画の見直しに取り組む

質問 令和3年10月1日より2年間限定で始まった瑞穂町コミュニティバス実証実験も1年が経過した。町民からの声には東京都のシルバーパス制度と同等の制度を求める意見やバス停の移動・新設、一部地域にはデマンド交通の導入、また民間バス会社の運行ルート変更などの意見がある。改善点や町民の意見も見てきたと思うが、地域公共交通に関する現状の課題と今後の改善について、所見を伺う。



町独自のシルバーパスなどの補助について研究していく。

こんな質問もありました
探求学習の重要性と不登校への対応強化を

教育長 自己の生き方を考えていく上で重要な学習。不登校対策にはオンラインによる学習の機会の確保に努める。



令和4年度第2回地域公共交通会議

質問 性的マイノリティについてはLGBTQやSOGIとして認識は広がりつつあるが、依然、当事者は偏見や差別的対応など社会的生活の様々な場面での困りごとに直面している。

下野 義子 議員 (公明党)

性的マイノリティの方々の人権を守る取り組みを問う



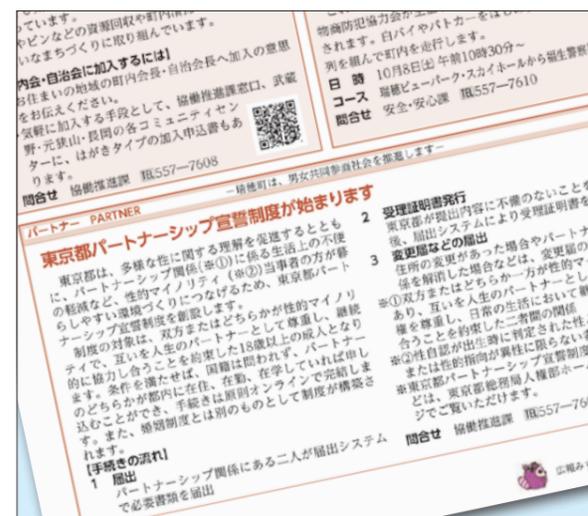
町長 引き続き偏見や差別をなくす取り組みを進めたい

都は本年11月「東京都パートナーシップ宣誓制度」を施行した。都における困りごとの解消、暮らしの環境改善が期待される。人権を守るためにも同様の制度の創設と相談・支援の拡充や啓発・教育の推進に取り組むべきと考えるが、町長、教育長の所見を伺う。

町長 町は、以前から人の多様性と個性を大切にしてほしいとの願いを込めて、広報みずほに「パートナー」のコーナーを設けている。教育委員会でも児童生徒が相談しやすい体制づくりや、互いの人格を尊重し、偏見や差別をなくすための人権教育を推進している。パートナーシップ制度は、他自治体と連携し、制度周知や当事者の孤立などが起こらぬよう理解を求め、都と連携したサービスの提供を図る必要がある。引き続き、様々な偏見や差別をなくす取り組みを進めたい。



広報みずほ「パートナー」のコーナー



石川 修 議員 (自民新政会)

これからの瑞穂町産業まつりについて



町長 改善・改革の道を探りたい

質問 第50回産業まつりは令和2年から毎年延期され、今年も延期された。マンネリ化しているとの声も聞く。この機会に来年の開催に向けて、一度白紙に戻し、名称についても、産業まつりでいいのか、まつりの目的・開催時期、実行委員の役割、組織改編で新設された観光・プロモーション係を中心とした総合的な運営に変更するなど、早急に各種団体に幅広く声を掛け、町民ニーズに合ったまつりにしたらと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 産業まつりは産業従事者が一堂に会し、50年以上にわたって産業の振興と町の発展を目的に開催してきた。大イベントである。急な変更をするのではなく、伝統を大切にしながらも、若い人の考えを取り入れるなど、今の時代に合った、より魅力的なイベントにしていかねければならぬ。産業まつり実行委員会、商工会、各種団体にそれぞれの事情を確認した上で、他の自治体の事例なども参考にして、改善、改革の道を探りたい。



小山 典男 議員 (自民新政会)

防災・減災「危険箇所」の再点検を



町長 修繕や撤去された箇所もある

質問 令和元年9月定例会で「町内の危険ブロック塀への対策を」と題し、一般質問を行った。

その際、小学校の通学路に民有地のブロック塀が153カ所あり、その中で目視により注

意が必要とされるところを22カ所確認している。「これからどうすべきか慎重に考えなければいけないが、このまま放置するというわけではなく、しっかりと研究していきたい」との答弁があった。そこで、その後どのような研究をされたのか、町長の所見を伺う。

町長 元年度から危険箇所の再確認を行った上で、地域防災計画の改定を行った。また、住宅などの耐震化の状況を再把握し、耐震化促進計画を定めた。ブロック塀対策については広報やホームページ

こんな質問もありました
高齢者の居場所づくりの今後の展開は

町長 通いの場や居場所づくりについては住民主体の協働事業で実現を図ってきたい。



補強されたブロック塀 (四小)

町民ニーズに合ったまつりにしたらと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 産業まつりは産業従事者が一堂に会し、50年以上にわたって産業の振興と町の発展を目的に開催してきた。



平成29年に開催された瑞穂町産業まつり

小川 龍美 議員 (公明党)

母子手帳のデジタル化とリトルベビーハンドブックの作成を



町長 都や他市町村との連携を探っていく



質問 国は妊娠や出産、長記録・予防接種など子どもの発育状況などを記載する母子手帳の内容を2023年に改定する予定となっている。中間報告では、手帳のデジタル化に向けた環境整備を進める方針が盛り込まれた。我が町もデジタル化に向けた取り組みを進めるべきと考える。また、多言語版や低出生体重児向けの身体発育曲線など多様性に配慮した情報提供の充実も求められる。併せて、低出生体重児向けのリトルベビーハンドブックを作成すべきと考える。

町長 町ではデジタル化について、いち早く「子育てナビワクワクみずほ」を提供し、成



りつつあるが、有効活用されるためには小児集中治療室がある医療機関や母子に係る主治医などの協力が不可欠であり、広域的な取り組みが望ましい。都や他市町村との連携を探っていく。

森 亘 議員 (自民誠和会)

産業振興策と地域経済の成長戦略を問う



町長 DXが企業戦略として認識されることが目標

質問 町は産業振興ビジョンを改定し、「DX」「経営力」「産業構造」「人づくり」「地域資源」を核とした5つの基本方針を定めた。特にDX推進は成長戦略に必須となるが、DX推進を可能とする大容量の回線などの環境整備や導入後のセキュリティ問題、AI導入による職種の需要の変化に伴う雇用問題も発生することが予想される。そこで、これらの諸問題にどのように取り組み、地域経済の成長を誘導していくのか、町長の所見を伺う。

町長 デジタル通信の高速化については、多摩地域の技術革新に欠かせない。デジタル社会への変化は、機械導入による経費、運用、技術の取得など、民間企業の変化も求めなければならぬ。DXが現在の技術を残すだけでなく、将来にわた



DXを推進する町内企業

こんな質問もありました
教育現場の実情と対策は
教育長 不登校、いじめも増加傾向にある。家庭・地域と課題を共有し、協働して解決する学校づくりを促す。

下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

瑞穂町におけるDXについて問う

DXについて問う



町長 近隣でもいち早くデジタル推進課を設置

質問 「DX」デジタルトランスフォーメーションという言葉は、近年よく見聞きする言葉であるが、産業、経済、そして、行政運営においても、この激変する社会情勢では、必要な流れである事は確かである。瑞穂町でも令和4年4月の組織再編でデジタル推進課が新設され、デジタル化に向けて、さらに動き出すことと思われる。瑞穂町におけるデジタル化の現状、そしてDXの方向性について、町長の所見を伺う。

町長 便利にするだけではDXではない。国および自治体を含め、生産性の維持と経営戦略を立て、将来に行政施策を維持することが

最終的な目標である。町は、令和4年4月、近隣でもいち早くデジタル推進課を設置し、各種産業行政のDXに向けて本格的に取り組みを開始した。しかし、現時点では、デジタル化に対する職員、住民

の理解が十分に進んでいるとは言えず、デジタルバйдの解消が必須の状況である。明確な政策目標を既に担当課に示しているが、今後、組織を柔軟に活用し、DXを推進していく。



香取 幸子 議員 (自民誠和会)

長期休業期間中に学童保育クラブで昼食提供を



町長 NPO法人と情報交換し、研究していく

質問 普段、学校がある時は給食が提供されるが、長期休業期間中に学童保育を利用する場合は各家庭で毎日お弁当を用意する必要がある。学童保育には共働き世帯の子どもが多く通所しており、毎日のお弁当作りは大きな負担となっている。保護者の声に自治体が応じ、給食の提供や、お弁当の宅配サービスを利用できるなどの仕組みづくりを、近隣市町でも始めている。瑞穂町でも取り入れる事ができないか、町長の所見を伺う。

町長 学童保育クラブでは、小学校の夏季休業期間を対象とする期間限定入所の児童を対象に毎年30人から40人

の児童が利用している。学童には調理室がなく、児童には各自お弁当を持参してもらっている。食中毒、食費の負担、アレルギー対応など、細かい配慮が必要であり、すぐに学童保育クラブで昼食の提供を実施することは難しい。今後、先進自治体の取り組みを参考にするとともに、学童保育クラブの運営を委託しているNPO法人と情報交換し、研究していく。



三小学童保育クラブでのクリスマス会

三小学童保育クラブでのクリスマス会



新設されたデジタル推進課

活/動/報/告

総務産業建設委員会

瑞穂町商工会との意見交換会 議会への要望も

10月25日、総務産業建設委員会は、町商工会と意見交換会を行いました。高水会長からは「町の活性化のためにはどうしたら良いか考えている。生産性のある所に投資していかないと町は良くならない」とのあいさつがありました。商工会側から、小規模事業者の現状と課題などが近隣商工会の取り組みを含めて報告されました。なお、会議では「多くの事業所の支援をするためにも商工会への補助金を増額してほしい」「商工会館（町施設）も老朽化している。近隣市は町の中心に商工会がある。将来を見据えて建て替えと移転をお願いしたい」などの要望も出されました。



活/動/報/告

議会運営委員会

あなたの声が届く議会を目指して

12月定例会最終日に、**広報広聴委員会**を新たに常任委員会として設置するための委員会提出議案が可決されました。これにより、議長を除く全議員が所属する広報広聴委員会の設置が決定しました。今後、具体的な活動内容や方針などを決めて、広報広聴機能の充実を目指します。

また、令和3年度に制定した議会基本条例では適時、条例の内容や議会運営の方法などについて検証することとしています。今後も反問権^{*1}や反論権^{*2}の運用、趣旨採択^{*3}の復活などについて継続的に協議し、議会を円滑に運営するための話し合いを行っていきます。

- ※1 反問権…議員の発言に対して町長をはじめとする執行部が問い返すことができるもの。
- ※2 反論権…議会提案の条例などに町長をはじめとする執行部が反論を述べることができるもの。
- ※3 趣旨採択…請願・陳情の趣旨には賛同できるが、困難な諸課題が多いと判断された場合の意思決定の方法。



議員研修会

3月の予算審議を前に 早稲田大学マニフェスト研究所～長内講師を迎えて～

12月14日、早稲田大学マニフェスト研究所の長内氏を講師に迎え、「施策評価の振り返りと予算審議に向けて」として、議員研修会を開催しました。議会では決算審査において、



町長などが執行した計画、政策、施策、事務事業の評価（議会の評価）を行い、その結果を町長などに示して予算に反映しています。前回の決算審査を振り返り、精度をさらに高めていく必要性を感じました。

今後の予算審議において、今回の講義内容を生かして、施策の成果が着実に出るように3月の予算特別委員会に臨んでまいります。

活/動/報/告

交通対策特別委員会

JRと都へ要望書を提出 ～新たな理由を追加～

12月12日、交通対策特別委員会ではJR八高線、多摩都市モノレールについて、要望内容を協議しました。今回は、新たに多摩都市モノレール箱根ヶ崎延伸の実現性が高まったことから、JR八高線については乗客数の増が予想されること、都知事には町が産業イノベーションの拠点として沿線の開発を進めることなどを要望理由に追加しました。



左から 栗原副町長、小山委員長、内田八王子支社長、古宮議長

【都知事への主な要望内容(1月20日提出)】

多摩都市モノレールについて
箱根ヶ崎駅延伸の早期実現。

【JR東日本八王子支社長などへの主な要望内容(1月31日提出)】

JR八高線について

- ①運行本数の増便 ②終発時間の改善
- ③箱根ヶ崎駅の無人の時間帯の改善
- ④東京直通便の再開 ⑤新駅設置
- ⑥可動式ホーム柵の設置

みずほ まちなか会議を開催しました!

テーマ「支え合い 助け合う 幸齢社会」

1月22日(日)厚生文教委員会では「みずほ まちなか会議」をオンラインで開催しました。10代～70代まで総勢13名の方が参加され、2班に分かれて会議を行いました。

参加者の年代構成

10代…2名	50代…2名
30代…1名	60代…2名
40代…2名	70代…4名

【参加者からの主な意見】

親の中には子育てが苦手な人もいます。そんな時に高齢者が子育てに協力してくれたらいいと思う。家族単位から地域単位での子育てや高齢者の見守りや生きがい作りが大切です。

「高根市」^{いち}を月2回開催して、町内の皆さんと顔が見える交流を目指しています。子どもたちにも楽しんでもらえるように、かき氷やゲームもありますが、もっと多くの方に来てもらえるようなアイデアがあったら教えてください。

子どもを産めば産むほど支援が受けられる制度ってできないかなあ。



高齢者の知識を地図に落とし込んでの街歩きはどうですか。「町のことは高齢者が、スマホの使い方は子どもたちが」みたいに、互いに教えあえるイベントになると思います。

ポッチャやモルックなどの軽スポーツやeスポーツなら世代を超えて楽しめると思う。

「駅伝大会」では、みずほまるのコスチュームを着て参加しました。また、高齢者に呼び掛けて「歌おう会」を行っています。どの世代にも「笑い」や「生きがい」を提供したいです。

寿クラブには代々続く地元料理を教えられる高齢シェフがたくさんいます。料理教室を開いて皆さんを招待したいです。

それなら、学校の料理の実習時間に講師として教えに来てほしい。友達にも参加するように、お知らせのチラシを作ります。

【その後…委員会として】

厚生文教委員会では「まちなか会議」に参加された皆様からの意見を政策に結び付けるために、委員会を開催しました。政策立案に向けてさらに話し合いを重ねていきます。

*総務産業建設委員会が予定していた「みずほ まちなか会議」は中止となりました。

厚生文教委員会 視察報告

全国平均を大きく上回る学力・・・その秘訣は

岐阜県瑞穂市 令和4年11月16日(水)

市では学校と地域が協力して地域行事などで小中学生の活躍の場(焼きそば作り、花を育てて高齢者に届けるなど)を提供していました。教職員については、市教育委員会が特に若手教員の指導力向上に向けて、元校長先生による相談や研修を行っていました。また、学力向上に向けて、各学校がそれぞれ独自の指導プランを作成するなど、学校が主体的に学力向上に向けて取り組んでいました。子どもたちも教職員も市全体で育てる取り組みは、わが町の今後の教育に大いに参考になりました。



地域行事で活躍する子どもたち

部活動の地域移行に向けて 説明会は100回以上

*令和5年度から公立中学校の休日における部活動を段階的に教員から外部に移行する制度

岐阜県可児市 令和4年11月17日(木)



可児市は、令和4年10月から地域移行の試行実施を開始しました。地域移行をスムーズに実施するためにどのような事前準備をしたか質問したところ、地域移行に向けて市部局の「文化スポーツ課」2名が中心となって進め、生徒や保護者などへの学校での説明会は100回以上にわたり、そこで出された意見はその場で受け入れるなど柔軟に対応したとのことでした。課題は人材の確保で、指導者は保護者が中心となって集め、どうしても見つからないときに担当課で対応するという仕組みを作っていました。



「小さな勇気でバリアフリー」 小学生の部で最優秀賞を受賞

青少年の主張で最優秀賞を受賞した増山 美郁さん。ある日、目の不自由な人に出会いましたが声を掛けられませんでした。「このままではいけない。困っている人を助けたい遠慮は必要ない。今度は自分から声を掛ける。小さな勇気と親切をみんなで持ちましょう。みんなで元氣な瑞穂町にしよう」希望にあふれたすてきな主張でした。「世界中には困っている人がたくさんいるから、そんな人たちの役に立ちたい」と夢を語る美郁さん。町の大切な宝物がまた一つ見つかりました。



増山 美郁さん

次の定例会は
2月28日(火)～
午前9時30分開会

次回 **3**月定例会 (予定) 2月28日～3月23日

日	月	火	水	木	金	土
12 2月	13	14 請願、陳情の 締め切り日	15	16	17	18
19	20 議会運営委員会	21	22	23	24	25
26	27	28 本会議 (一般質問)	1 3 本会議 (一般質問・議案審議)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3	4
5	6 総務産業建設委員会	7 厚生文教委員会	8	9 予算特別委員会	10	11
12	13 予算特別委員会	14 予算特別委員会	15	16 予算特別委員会 (議員間討議)	17	18
19	20 議会運営委員会	21	22	23 本会議 (議案審議)	24	25

■本会議、委員会の開始時刻は、午前9時30分からです。なお、上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴にお越しの際は、電話またはホームページで日程などをご確認の上、ご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



庁舎から富士山を臨む

晴天に恵まれた新春を迎えました。令和5年は、笑顔で穏やかな年となりますよう、ご祈念いたします。

これまで議会は、議会活動がさらに皆さまに身近に感じていただけるように協議を重ねてきました。そして、令和5年度に広報広聴委員会が正式に発足します。

これを機に進化した「ギカイのひろば」をお届けできるように邁進してまいります。

文：山崎 栄

編集委員
山崎 栄 森 巨
大坪 国広 小川 龍美
村上 嘉男 香取 幸子



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。